

令和6年5月吉日

各大学関係学部長

金沢大学理工学域長
松本 宏一
(公印省略)

令和6年度 公開臨海実習について（通知）

このことについて、下記の通り実習参加希望者を募集します。

つきましては、貴所属学生の参加希望がありましたら、実施要項に基づく書類提出を下記の締切日までに担当係へ送付くださるようお願いいたします。

記

- 1 令和6年度 第1回金沢大学理工学域公開臨海実習
タイトル：アカテガニに着目した海岸環境の保全に関する実習
開講期間：令和6年度8月21日（水）～23（金）
対象：学部生
定員：10名（原則先着順）

募集締め切り：7月12日（金）

- 2 令和6年度 第2回金沢大学理工学域公開臨海実習
タイトル：能登半島の海洋動物相
開講期間：令和6年9月2日（月）～9月4日（水）
対象：学部生
定員：10名（原則先着順）

募集締め切り：7月12日（金）

*実習に関する詳細は、同封の実施要項にてご確認下さい。

*学部生以外の学生のご応募はご相談に応じます。

【本件に関する問い合わせ先】

〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学理工系事務部学生課教務係 内山
TEL: 076-234-6970 FAX: 076-234-6844
E-mail: s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

令和6年度 第1回金沢大学理工学域公開臨海実習実施要項

1. 授業科目 公開臨海実習 1単位
実習タイトル「アカテガニに着目した海岸環境の保全に関する実習」
2. 実施期間 令和6年8月21日（水）～23日（金）
【8月21日（水）11時金沢駅集合，8月23日（金）昼金沢駅解散】
3. 実施場所 金沢大学 角間キャンパス
連絡先
環日本海域環境研究センター 臨海実験施設
(震災の影響により、角間キャンパスに移動しました)
〒920-1192 石川県金沢市角間町
nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp
4. 対象学生 国公立大学理学部及び水産学部あるいは自然科学系の学部の生物学科又は生物学関連学科に在籍する学部学生。これ以外の学生は相談に応じます。
ただし、所属する大学あるいは学部によっては単位として認定されない場合がありますので、単位が必要な人は自分が所属する大学で確認してください。
5. 実習内容
金沢大学 環日本海域環境研究センターが面する九十九湾にはアカテガニが生息しています。
アカテガニ(*Chiromantes haematocheir*) は、十脚目ベンケイガニ科に分類されるカニの一種であり、日本では本州から南西諸島までに分布し、海岸や川辺に多く生息しています。アカテガニは陸上生活に高度に適応していますが、成長過程（ゾエア期からメガロパ期を経て稚ガニまでの過程）において、一時的に海中で生活する必要があります。アカテガニは、一般的に 7-8 月の大潮（満月か新月）の夜、満潮の時間に合わせてメスが海岸に集合して、ゾエア幼生を放出します。
九十九湾の海岸環境は、アカテガニの生息に適しており、ゾエア幼生の放出を観察可能です。そこで本実習では、アカテガニに着目して海岸環境の保全に関する実習を実施します。日帰りで能登に行き、磯観察、アカテガニ及びゾエア幼生の観察、乗船実習も計画しています。さらに、韓国の環境学の研究者を招聘して、韓国での最新の研究を聴講します。
6. 指導教員 鈴木信雄 教授，関口俊男 准教授，木谷洋一郎 准教授
協力教員 広島大学 豊田賢治 助教，韓国外語大学 洪天祥 教授
7. 定 員 10名（原則先着順）
8. 申込期限 令和6年7月12日（金）必着
9. 応 募 参加希望者は、所属の学務係を通じて応募してください。
10. 選 考 8月上旬までに所属学部長及び本人に通知します。
(願書の連絡先欄には、携帯電話等の連絡をとりやすい番号を記入してください。)

11. 提出書類 (1) 特別聴講学生願書 (別紙様式)
(2) 所属学部長の推薦書 (様式任意)
(3) 学生教育研究災害保険に加入していることを証明するもの (コピー可), 又はこれに相当する傷害保険に加入していることを証明するもの (コピー可)。
(4) 実習等参加健康申告書・実習等参加同意書 (別紙様式)

【書類提出先】

金沢大学理工系事務部学生課教務係

〒920-1192 石川県金沢市角間町

(注) 郵送の際は, 封筒の表に「公開臨海実習参加申込書在中」と朱書してください。

12. 所要経費 (1) 宿泊費等 : 6,000円 (2泊分)
食 費 : 毎日の食事代
(2) 受講費
徴収しません。(公私立大学の学生については単位認定を行わないかわりに受講証明書を発行します。)

13. 携 行 品 寝間着 (ジャージでも可)。白衣は持ってきておかまいませんが, 必須ではありません。手袋をして実験しますので, 白衣がなくても大丈夫です。その他, 健康保険証, 常備薬 等。コロナ感染防止対策として, マスクも持参してください。

また, 宿泊施設の備品は以下の通りです。

洗面具 : フェイスタオル, バスタオル, ボディーソープ, 歯ブラシ,
リンスインシャンプー

室内品 : テレビ, 冷蔵庫, ティーサーバー, 目覚まし時計, ドライヤー

14. そ の 他 (1) 8月21日 (水) の昼食は, 持参してください。
(2) 金沢駅から角間キャンパスまで, マイクロバスor公用車で送迎します。
(詳細は採用決定後に本人へ連絡します。)

15. 実習内容に関する問合せ先

金沢大学環日本海域環境研究センター 臨海実験施設 鈴木信雄

E-mail nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp

令和6年度 第2回金沢大学理工学域公開臨海実習実施要項

1. 授業科目 公開臨海実習 1単位
実習タイトル「能登半島の海洋動物相」
2. 実施期間 令和6年9月2日（月）～9月4日（水）
【9月2日（月）11時金沢駅集合，9月4日（水）昼ごろ金沢駅解散】
3. 実施場所 金沢大学 角間キャンパス
連絡先
環日本海域環境研究センター 臨海実験施設
(震災の影響により，角間キャンパスに移動しました)
〒920-1192 石川県金沢市角間町
nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp
4. 対象学生 国公立大学理学部及び水産学部あるいは自然科学系の学部の生物学科又は生物学関連学科に在籍する学部学生。これ以外の学生は相談に応じます。
ただし，所属する大学あるいは学部によっては単位として認定されない場合がありますので，単位が必要な人は自分が所属する大学で確認してください。
5. 実習内容
海洋には様々な生物が棲息しており，陸上には見られない多くの分類群が特異な生活を送っています。特に本施設が位置する能登半島周辺は地形の複雑さを理由として，多様な海洋生物を観察することができます。本実習では，夏の能登半島における海洋動物の採集・観察・同定を行います。
本実習は金沢市にある角間キャンパスをベースにします。野外実習は，能登町までマイクロバスで移動し日帰りを実施します。磯での採集，実習船からのプランクトンネットおよびドレッジによる採集を通して，動物の採集・観察法の基礎を学びます。採集した生物を陸に持ち帰り，肉眼および顕微鏡で観察・同定します。金沢で実施される複数回の講義により，多様な動物相が存在する背景を学習し，実習で得られた知見をより深い理解につなげます。
6. 指導教員 鈴木信雄 教授，関口俊男 准教授，木谷洋一郎 准教授
7. 定 員 10名（原則先着順）
8. 申込期限 令和6年7月12日（金）必着
9. 応 募 参加希望者は，所属の学務係を通じて応募してください。
10. 選 考 希望者が多い場合は抽選となります。8月上旬までに所属学部長及び本人に通知します。（願書の連絡先欄には，携帯電話等の連絡をとりやすい番号を記入してください。）

11. 提出書類 (1) 特別聴講学生願書 (別紙様式)
(2) 所属学部長の推薦書 (様式任意)
(3) 学生教育研究災害保険に加入していることを証明するもの (コピー可), 又はこれに相当する傷害保険に加入していることを証明するもの (コピー可)。
(4) 健康診断書 (各大学の保健管理センター等に所属する学校医が発行する診断書でかまいません。)
(5) 実習等参加健康申告書・実習等参加同意書 (別紙様式)

【書類提出先】

金沢大学理工系事務部学生課教務係
〒920-1192 石川県金沢市角間町

(注) 郵送の際は, 封筒の表に「公開臨海実習参加申込書在中」と朱書してください。

12. 所要経費 (1) 宿泊費等 : 6,000円 (2泊分)
食費 : 毎日の食事代
(2) 受講費
徴収しません。(公私立大学の学生については, 単位認定を行わない代わりに受講証明書を発行します。)

13. 携行品 磯採集をするため, 水着の上に長袖のシャツ, ズボンやトレーニングウェア, ジャージの上下等, 肌が直接出ない服装及び, 軍手をしてください。採集時の危険防止のため, これらを守らないと海へは入れません。
なお, マリンブーツを貸し出します。
その他, 磯の動物の資料 (あれば望ましい), 寝間着, 健康保険証, 常備薬 等。コロナ感染防止対策として, マスクも持参してください。

また, 泊施設の備品は以下の通りです。

洗面具 : フェイスタオル, バスタオル, ボディーソープ, 歯ブラシ,
リンスインシャンプー

室内品 : テレビ, 冷蔵庫, ティーサーバー, 目覚まし時計, ドライヤー

14. その他 (1) 9月2日 (月) の昼食は, 持参してください。
(2) 金沢駅から角間キャンパスまで, マイクロバスor公用車で送迎します。
(詳細は採用決定後に本人へ連絡します。)

15. 実習内容に関する問合せ先

金沢大学環日本海域環境研究センター 臨海実験施設 鈴木信雄
E-mail nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp

特別聴講学生願書

令和 年 月 日

金沢大学理工学域長 殿

大学・学部 _____ 大学 _____ 学部 _____
学科・学年 _____ 学科 _____ 学年 _____
学 籍 番 号 _____
ふりがな _____
氏 名 _____ 印 男・女 _____
生年 月 日 _____ 平成 年 月 日 _____

下記のとおり、貴学域の授業科目を履修したいので関係書類を添えて申し込みます。

記

1 参加を希望する実習（いずれかに✓）

- ☐ ① 第1回 アカテガニに着目した海岸環境の保全に関する実習
日程 令和6年8月21日（水）～23日（金）
- ☐ ② 第2回 能登半島の海洋動物相
日程 令和6年9月2日（月）～4日（水）

2 実習参加を希望する理由（100字程度にまとめてください。）

3 参加学生の住所・氏名・連絡先等

※ メールアドレスの - (ハイフン) と _ (アンダーバー), 0 (ゼロ) と O (オー) など, 似た文字や記号は, 明確にわかるように記入してください。

本人連絡先	住所：〒 Tel(携帯)： - - e-mail:
保護者等の連絡先	氏名： 続柄： 住所：〒 Tel：() -
在籍大学の担当教員 (指導教員がない場合は 学科長又は主任)	大学名： 職名： 氏名： Tel：() - e-mail:

実習等参加健康申告書

参加実習名／実施期間（いずれかに✓）

- ☐ 令和 6 年度 第 1 回金沢大学理工学域公開臨海実習／8 月 21 日～8 月 23 日
☐ 令和 6 年度 第 2 回金沢大学理工学域公開臨海実習／9 月 2 日～9 月 4 日

1. 現在治療中の病気および実習等に参加することに支障がある病気の有無について、該当するほうに✓印をご記入ください。「あり」にチェックをした方で、特に循環器系や呼吸器系の疾患（心臓障害、高血圧、気管支炎等）や中耳炎、内耳疾患、てんかん等の病気がある場合は、必ずご記入ください。

☐あり

病院名：

TEL：

主治医名：

☐なし

2. その他、ご自身の健康について知らせておいた方がよいこと、気をつけて欲しいと思うこと（食品アレルギー等）を記入してください。

☐あり

☐なし

※上記の情報は本実習以外の目的では使用しません。実習終了後は当施設で責任を持って破棄します。

実習等参加同意書

金沢大学環日本海域環境研究センター
臨海実験施設 施設長 殿

1. 本実習等参加にあたり、上記の申告内容に間違いありません。
2. 実習等期間中は、教職員の指示に従い、自分で最大限の安全管理を行った上で参加します。
3. 緊急の際には、医師の診断のもと応急処置が行われることに同意いたします。
*なお、事情により家族／保護者への連絡が応急処置後になることもありますが、その際はご了承ください。

令和 年 月 日

所属

氏名

印

金沢大学 臨海実験施設

令和6年度 第1回公開臨海実習



「アカテガニに着目した海岸環境の保全に関する実習」

開講期間：令和6年8月21日（水）～23日（金）

臨海実験施設のある九十九湾周辺にはアカテガニ *Chiromantes haematocheir* が生息する。アカテガニは陸上生活に適応しているが、成長過程において一時的に海中で生活しなければならない。本年は、能登半島地震の影響により、金沢市角間町の金沢大学のゲストハウスに宿泊して、8月22日に日帰りで能登に行きます。磯観察と乗船実習を計画しています。



撮影：石川県立大学

ゾエア幼生



親力ニ



撮影：石川県立大学

メガロパ幼生



撮影：石川県立大学

稚力ニ

対象：学部・学科生、大学院生 先着順
募集締め切り：7月12日（金）
問い合わせ先：金沢大学 鈴木信雄
e-mail: nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp

参加学生募集

e-mail: nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp